
目次

【1】 事業報告

- 在関西総領事館と連携しての防災ワークショップ
- オリオン寮・大阪市立大学留学生宿舎合同防災訓練とキャリアカウンセリング
- 【2】 安藤プログラム研修内容詳報
 - 神戸芸術工科大学及び大阪府立大学との交流事業
 - 安藤プログラム研修生インタビュー
- 【3】 お知らせ
 - 女性のための防犯DVD、犯罪防止パンフレットの紹介
- 【4】 外国人情報コーナー
 - 年金保険料後納制度
- 【5】 OFIX国際交流員のレポート
 - フィリピン「クリス・クリングル」

【01】 事業報告

■ 在関西総領事館と連携しての防災ワークショップ

11月8日(木)に、大阪府が所管する津波・高潮ステーションにて、在関西総領事館関係者、近畿各府県・政令市の行政担当者、近畿地域国際化協会連絡協議会スタッフ、総勢62名が一堂に会しての防災ワークショップを開催しました。

まず、津波・高潮ステーションの展示棟での体験ツアーに参加いただき、その後

1. 近畿地域国際化協会連絡協議会活動紹介
2. 法務省大阪入国管理局による災害時の外国人支援
3. 株式会社802メディアワークスによる多言語放送・FMラジオ局の災害時の対応

などの講演を行ったのち、総領事館関係者との意見交換会をおこないました。

参加者の感想・意見として

- * 津波・高潮ステーションの体感シアターは素晴らしく、勉強になった。
 - * 専門家として防災について問題を抱える領事館の方々と出会えたよい機会であった。
- などのご意見を頂きました。

今後もこのようなワークショップを契機としてそれぞれの関係機関との連携を強化して、外国人が住みやすい環境づくりを目指していきたいと思えます。

■ オリオン寮・大阪市立大学留学生宿舎合同防災訓練とキャリアカウンセリング

10月27日(土)大阪府堺留学生会館オリオン寮にて、「オリオン寮・大阪市立大学留学生宿舎合同防災訓練」と「留学生のためのキャリアカウンセリング」を実施しました。防災訓練には両寮生約50名が参加し、大地震が発生し建物内で火災が発生した想定避難訓練を行いました。避難は一人でせずに複数ですること、安否確認メモを必ず残すこと、堺市消防局の方から消火器の使い方などを学んだ後、指定避難場所の西百舌鳥小学校まで全員で向かい、ルート確認をしました。

訓練開始の放送が入る前から避難を始める人や、指定された非常階段ではなく火元想定近くの屋内階段を使って避難する人がいたりしましたが、時間内に避難は完了し、概ね順調に行われました。

参加者からは、「災害に備え訓練しておくことは大事だと思う。」という感想が聞かれました。

また、北堺警察署の方から防犯指導も受けました。

キャリアカウンセリングには日本で就職を希望する留学生8名が参加し、就職活動をする上で重要なことや疑問点をカウンセラーに相談しました。

参加者からは、「自分に向いている職種についてアドバイスをもらい、新たな発見があった。」「今まで、具体的に就職活動の仕方が分からなかったが、教えてもらえてよかった。」という感想が聞かれました。

また、「カウセリングが役立ち、就職が決まった。」という嬉しい報告も届きました。

就職活動中の留学生から「就職活動って何をすればいいのかよく分からない。」という声をよく聞きます。OFIXでは、そんな留学生の就職支援を今後も続けていきます。

【02】 安藤プログラム研修内容詳報

■ 神戸芸術工科大学及び大阪府立大学の学生との交流事業

第51号でもご報告いたしました、大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業(安藤プログラム)では、(株)大林組、(株)銭高組、大和ハウス工業(株)、そして(株)竹中工務店での約10日間に及び企業研修や、大阪府庁および安藤忠雄建築研究所への表敬訪問に並び、神戸芸術工科大学そして本年度は大阪府立大学と共催し、日本の学生(留学生含む)と交流を行い互いに多くの

ことを学ぶ素晴らしい機会を得ました。その二つの事業についてお伝えします。

10月4日・5日と研修生は神戸芸術・工科大学の学生と2日間にわたり、アジア青年建築交流会議と題し、芸工大キャンパス及び安藤忠雄氏設計の淡路夢舞台にて交流する機会を持ちました。

芸工大に到着した研修生はキャンパスツアーに連れて行っていただき、芸工大のカリキュラム等について学んだ後、歓迎レセプションを受けました。齋木学長の歓迎のご挨拶後、会議に参加する中国、インド、ロシア、ボスニア・ヘルツェゴビナからの留学生を含む6名の学生の紹介を受け、シンポジウムの開始となりました。

本年度は“復興と防災 各国の取り組み”をテーマに捧げ、芸工大生と研修生が各々の国の対策・事例について発表しました。日本の事例としては主に東日本大震災後の街の再生、復興があげられ、研修生は各国での津波後の復興への足取りや取り組み、地震災害後の様子、課題点などを発表しました。質疑応答が活発に行われ、アカデミックな討論がおこなわれました。

その後、夢舞台に移動し、ナイトセッションではゲームをしたり、初日におこなった卵を7階から下に落としても割れない容器を、限られた材料（新聞、発泡スチロール等）で作るというアイスブレイクセッションを通し、研修生と学生の距離は縮まり、お互いの専門や興味、建築の話で盛り上がりました。

2日目は後半のプレゼンテーションが行われ、その後、夢舞台や本福寺を視察し、改めて安藤忠雄氏の作品の雄大さや存在感を確認する場となりました。互いに多くのことを学んだ美りある2日間となりました。今後も若き建築家として彼らの交流が長く続くことを願いシンポジウムを終えました。

引き続き10月6日には、研修生8名と府大生18名が参加し、「Design Our Campus」と題してのワークショップを大阪府立大学中百舌鳥キャンパスで開催しました。中百舌鳥門で府大生から研修生の各国の旗を掲げた盛大な歓迎を受けたあと、場所を移動し寺迫副学長・国際交流推進機構長の歓迎のご挨拶をいただきました。

建築・芸術を専門とする研修生を迎え、キャンパス内の「府大池」をもっと魅力のある、人々の憩いの場となる日本的なテイストの入った場所にデザインするというテーマに従い4つのグループに分かれ、グループ毎にディスカッションを行いました。写真などを交えた自己紹介を行った後、アイデアを得るため「府大池」を散策する頃には、はじめは緊張していた研修生も、積極的な府大生たちとの言葉の壁を越え、すっかり打ち解けていたようでした。

午後からは、教室に戻り、グループ毎に現在の問題点を用紙に書き出すという作業に入り、さらにどのように改善できるかというアイデアをプレゼンテーションしました。各グループ、真剣に次々と独創的で、個性あふれるアイデアを出し合い、国籍や言葉を超えお互いの意見を尊重しあい、共同で作業することで研修生・府大生ともに刺激のある有意義な交流ができました。最後に奥野理事長・学長よりご講評をいただき、これからも交流が続くように願い、一日のワークショップは幕を閉じました。

【平成24年安藤研修生一覧】

名前	地域名	出身国	研修先企業
ブイ クウオック タン	ハノイ	ベトナム	銭高組
カバタック ラクエル	マニラ	フィリピン	銭高組
ハリーシュ ハリダサン	ムンバイ	インド	竹中工務店
ヒルダ ムルティ アルタリナ	東ジャワ	インドネシア	竹中工務店
コーキアット キティソポンポン	バンコク	タイ	大林組
リュウ スドン	上海	中国	大和ハウス工業
シャナカ ダナンジャーヤ	コロンボ	スリランカ	大林組
シャクヤ スマン	カトマンズ	ネパール	大和ハウス工業

■ 安藤プログラム研修生インタビュー

研修を終え帰国した研修生に、メールでインタビューした内容をご紹介します。

1. 安藤プログラムについて、どのようにして知りましたか？
大学3年生の時、2006年に安藤プログラムに参加した先輩のプレゼンテーションで初めて知りました。大阪での研修生としての貴重な経験について話す先輩の発表を見たとき、とても興味が湧き、ぜひいつか参加したいと思いました。（ヒルダさん）
2. 大阪の第一印象はどうでしたか？あなたの街と大阪での大きな違いはなんでしょう？
とても清潔な街だと思いました。大阪と上海は大きく違う様には見えませんが、人々の公衆道徳の高さと街の環境は、大阪の方が優れていると感じます。（リュウさん）
3. 研修企業での研修はどうでしたか？
大和ハウス工業での研修で一番思い出に残っているのは、建築現場視察と阪南スカイタウンを訪問したことでした。そこでは、日本の効率的な空間の利用と建設技術について学びました。母国で住宅デザインの仕事をしているので、直接自分の専門分野に関連することを学ぶことができ非常に勉強になりました。（スマンさん）
専門分野の違う方たちとのディスカッションや0JT、リラックスした雰囲気の職場で学習することがとても多かったです。送別会や昼食時にはいろいろな方と過ごすことができました。（コーキアットさん）
4. 安藤先生にお会いした印象を教えてください。
夢のようでした。言葉で言い表すことができません。安藤先生から直接言葉を聞くことができ素晴らしい思い出になりました。先生の建築や若手建築家へのアドバイスには感銘を受けました。（ハリーシュさん）
安藤先生の事務所は思ったより小さく、しかしユニークで先生を象徴しているよう

でした。先生はとても気さくで、私達若手建築家は建築家としての方向性をすぐにも決めるべきだという助言が印象に残りました。また世界市民として環境への配慮の大切さも訴えておられました。(ヒルダさん)

5. 研修の中で何が一番印象に残っていますか？

安藤先生にお会いしたこと以外では、淡路夢舞台で芸工大生とディスカッションし、夜は和室で眠り、夢舞台の視察をしたことです。(ラクエルさん)

この安藤プログラムには本当に多くの方の努力が関わっており、本当にそのことに感謝しています。(コーキアットさん)

6. どのように週末や自由時間を過ごしましたか？

一日たりとも暇な日はありませんでした。大阪の色々な場所を訪問し、街の交通網も理解しました。大阪城や光の教会、四天王寺、通天閣などに行きました。(ハリーシュさん)

私の研修日程にない場所に行きました。「光の教会」へ向かう途中、モノレールに乗ったことは楽しかったです。また「だんじり祭り」にも参加することができとてもラッキーでした。(スマンさん)

7. 母国に戻った現在の目標また将来のキャリアプランは何ですか？

大学院への進学又は海外に留学することを考えています。また日本に帰ってくるかもしれない。そのときはもちろん大阪を選びます。(ラクエルさん)

無事修士号を終え、博士号に進むことです。安藤プログラム後、いつか日本で働きたいという夢を持つようになりました。博士号を取得後、チャレンジしたいです。(シャナカさん)

【03】お知らせ

■ 女性のための防犯DVD、犯罪防止パンフレットの紹介

公益財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会では、女性の性犯罪防止啓発DVD「女性のための防犯—あなた自身を守るために—」と防犯パンフレット「犯罪の被害に遭わないために」を日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語で作成されました。女性のための防犯対策やひったくりや自転車の盗難に遭わないための対策、110番通報の仕方などが分かりやすく解説されています。大遊協国際交流・援助・研究協会では希望者に配付されていますので、活用を希望される方は、電話 06-4304-0180 までお問い合わせください。

【04】外国人情報コーナー

■ 年金保険料後納制度

外国人の方も条件によっては年金に強制加入になっている場合もあるのですが、制度を知らずに未払いの状況が続いていませんか。今年の10月に国民年金の年金保険料後納制度が3年間の期限付きで実施されています。今までは2年を過ぎた場合は時効になって、納付できなかった保険料を、過去10年間の納付忘れの保険料について、時効により納付できなかった期間の保険料を納付することができます。これにより、老齢年金の年金額を増やすこともできます。また、納付期間が不足したことで、年金の受給ができなかった人が年金を受給する資格を得ることができることもあります。ただし、外国人の方の場合は、海外に住んでおり、日本に住所がない期間に関しては、この制度を使うことはできません。また、日本年金機構によると、現在の制度では国民年金を受給するためには、納付済みの期間や納付免除の期間を合算して300月必要ですが、平成27年10月以降は、120月に短縮される予定とのことです。

大阪府外国人情報コーナー

対応時間：9時から5時30分（月から金）

相談直通電話：06-6941-2297

対応言語：英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

【05】OFIX国際交流員のレポート

■ フィリピンの「クリスマス・クリングル」

皆さんこんにちは。OFIXの国際交流員のアルビンです。冬はもうやってきました。皆さんは温かくしていますか。冬と言えば、フィリピンで一番待ちに待った時期がやって来ました。クリスマスです。

今の時期にフィリピンに行けば、すでにクリスマスの飾りがどこに行っても見られます。町も綺麗なイルミネーションでライトアップされているでしょう。昨年フィリピンのクリスマスについて書きましたが、今年はクリスマスの時期に学校や職場で行う「クリスマス・クリングル」というイベントについて紹介したいと思います。

フィリピンでは、12月になると必ず学校や職場等で「クリスマス・クリングル」というイベントを行う習慣があります。クリスマスの時期になると誰もが一番楽しみにしているのはプレゼントを貰うことです。だけど、誰からもプレゼントを貰えないと悲しいですね。それで、クリスマスの時期を盛り上げ、優しい気分になるためにこの「クリスマス・クリングル」があります。さて、どのようにやるのでしょうか。

まず、自分の名前を紙に書いて箱に入れます。それから、くじ引きで一人ずつ1枚の紙を引きます。誰の紙を引いたのか他の人には明かさないルールです。引いた人にとって「クリスマス・クリングル」をやっている期間中は引いた紙に書かれた人が自分の「子ども」となります。そして、「親」として、子どもにプレゼントを与えないといけません。普段学校ではクリスマス休みの1週間前に「クリスマス・クリングル」をやって、1週間毎日「子ども」にプレゼントを渡さなければなりません。ただ、プレゼントはなんでも良いというわけではありません。ルールや名前を管理する「クリスマス・クリングル委員会」

がその日その日のテーマを決めます。例えば、月曜日に「硬いもの」、火曜日に「甘いもの」、水曜日に「ふわふわしているもの」などです。もちろん、金額制限はあります。まともなプレゼントをあげる人もいますし、ふざけたプレゼント、例えば、「硬いもの」と言って、石をあげる人もいます。プレゼントは「親」が誰だかわからないように渡しているのです、文句を言うことはできません。
 でも、最後の日に自分の「親」は誰なのか明かされるからふざけたものばかりはあげられません。そして、最後に「子ども」が「親」にプレゼントをあげる番になるので、ふざけたものばかりあげたら、最後にろくでもないものを貰いかねません。まあ、目的は皆が楽しむことです。次に貰うプレゼントはどんなものなのかドキドキするし、自分の「親」は誰なのかわからないから、色々詮索して自分の「親」を見つけ出すのも楽しいです。「好きな人だったらどうしよう」とドキドキする人もいるでしょう。
 いかがでしょうか。楽しそうだと思いますか。皆さんもドキドキするクリスマスを過ごしませんか。学校でも、職場でもクリスマス・クラングルをやってみましょう。

=====

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka)』
 大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメールマガジンです！
 ⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。
 ⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/calender.cgi>
 ※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。
 ⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/event.cgi>
 ※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。
 ⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>
 ※OFIXボランティアの登録制度のご紹介
 ⇒ http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html
 ※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。
 ⇒ http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

=====

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら
 ⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら
 ⇒ clubnews@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら
 ⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。
 ⇒ http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no52.pdf

≫≫ バックナンバー
 ⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

=====

☆☆
 発行：(公財)大阪府国際交流財団 (OFIX)
 〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階
 TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401
 ☆☆☆